

【声に出して読む】 俳句 杉田久女 五

旅人の 傘さし行けり 野分あと

たびびとの かささしゆけり のわきあと

露の世や 廃園の木の 影ばかり

つゆのよや はいえんのきの かげばかり

初雪の 紙の如くに 降りにけり

はつゆきの かみのごとくに ふりにけり

涼しさや 紙をはぐ音 人の声

すずしさや かみをはぐおと ひとのこえ